

芽室町 ← 揖斐川町 小学生交流

揖斐川町は北海道芽室町と友好都市提携を結んでいます。そのつながりから、小学生同士が互いの町を行き来する交流が、毎年夏休みに行われています。今年の様子をお届けします。

芽室町 ↓ 揖斐川町
7月28日(火) ~ 31日(金)



▲揖斐川町児童との交流(谷汲山)

7月29日(水)、揖斐川町と友好都市提携を締結している北海道芽室町の小学生派遣団11名が町長を表敬訪問しました。芽室町児童は町長への質問を通して、揖斐川町の理解を深めました。

派遣団は、町内のダムやお寺などを訪問したり、地元の食材を味わったりと揖斐川町の自然、歴史、文化に触れました。

また、学校訪問では、揖斐小学校の児童と互いの町や学校についての発表やレクリエーションを行い、谷汲山華厳寺では8月に芽室町へ派遣される揖斐川町の代表児童と、親交を深めました。

揖斐川町 ↓ 芽室町
8月6日(木) ~ 10日(月)

揖斐川町からは、8月6日(木)から10日(月)までの4泊5日間、町内在住の小学6年生11名が北海道芽室町を訪問しました。

岐阜県人会の方々による農業体験や牛の搾乳体験、ふるさと歴史館の見学などを通して芽室町の魅力を感じました。

現地の児童とは、互いの町について発表したり、レクリエーションを行ったりしました。

派遣児童はさまざまな施設で多くの人と交流すること、たくさんさんの経験を積み、笑顔で帰りました。

派遣児童は、11月に開催予定の青少年育成町民会議で活動報告を行います。



▲大型トラクターで農業体験

研修の主なスケジュール

- 6日 ホームステイ
- 7日 農業体験・芽室町長表敬訪問
- 8日 搾乳体験・ふるさと歴史館訪問・芽室町小学生と交流・工場見学
- 9日 ゲートボール体験・ばんえい競馬・まちなか歩き
- 10日 帰町



▲岐阜県人会の方々とBBQもしたよ



▲牛とのふれあい 餌やり体験

地域学習支援事業 「地域学び塾」を開催しました

7月22日(水) ~ 8月21日(金)のうち15日間、8会場(102教室)で、中学生を対象に「地域学び塾」を開催しました。

この事業は、夏休みにおいて、子どもたちが自ら学ぶことを通して、好きを育み、得意を伸ばすことを目的としています。参加した生徒からは、「ここ来ると、集中できる」「分からないところを教えてもらえるし、家でやるより勉強がやりやすかった」などの感想が聞かれました。

今年度は、新たに揖斐高校生11人がアシスタントティーチャーとして、小中学生を対象とした「日本語教室」の学習を支援してくれました。また、「はなもも」では、学校での学びに不安をかかえる子どもたち向けの勉強会を行いました。指導者による授業を受けたり、自分で決めた学習を進めたりしました。



▲「日本語教室」の様子(揖斐公民館にて)

地域鉄道（養老線）への支援の拡充を国に要望しました

岡部町長が、養老線沿線市町（大垣市、桑名市、海津市、養老町、神戸町、池田町、揖斐川町）の首長と共に、①8月6日（木）中部運輸局、②8月18日（火）国土交通省、財務省へ要望活動を実施しました。

《要望内容》「鉄道事業再構築事業に対する社会資本整備総合交付金の所要額の確保」、「新型車両への更新等に対する新たな財源措置と支援の拡充」、「燃料費・物価高騰対策および鉄道人材の確保・育成等支援」、「まちづくりと連動した広域交通ネットワークの強化に向けた支援」

《要望先》①神谷中部運輸局長 ②国土交通省 上田政務官／岡野鉄道局長、財務省 坂本主計局長



▲①神谷中部運輸局長



▲②国土交通省 岡野鉄道局長

揖斐高校 体験学習
連携型中高一貫教育

7月23日（木）、揖斐高等学校で体験学習が行われ、町内の中学2年生、56名が参加しました。

普通科ビジネス系に参加した生徒は、揖斐高生が作成したゲームを通して、商業について学びました。

生活デザイン科の2コースに参加した生徒は、ピンクッションを作ったり、食品衛生について学んだりしました。

閉校式では、中学生代表生徒が、「高校の授業を学べてよかったです。ビジネス系では、経営の難しさを知りました。この経験を進路選択に生かしたいです」と語りました。

揖斐高校 サマースクール
連携型中高一貫教育

7月23日（木）、揖斐高等学校でサマースクールが行われ、町内の中学3年生、31名が参加しました。揖斐高等学校と町内中学校の教師による夏限定の特別授業で、各教科の授業が行われました。

開校式では、中学生代表生徒が、「自分の苦手を克服したいです。国語の読



▲食物コース・食品衛生学習



▲普通科ビジネス系



▲社会科の授業を受けている様子



▲真剣に話を聞く中学生

解力をつけて、2学期活躍したいです」と意気込みを語りました。参加生徒は、先生方の話に熱心に耳を傾け、真剣に学習に取り組んでいました。

揖斐高校の小棟教諭は、社会科の授業を通して「多様な見方・考え方を身につけ、視野を広げることが大切ですよ」と話しました。

閉講式では、中学生代表生徒が、「今日学んだことを、受験勉強や進路選択に生かしたいです」と語りました。

非常用携帯トイレをご寄附 いただきました

8月19日(水)、株式会社エスイーアイ代表取締役の太田幸宏様から、非常用携帯トイレをご寄附いただきました。これは、地震や水害などの災害時にご家庭や避難所のトイレが使用できなくなった際に使用するものです。

町では、ご家庭の備蓄品の一つとしていただくため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した非常食などの防災備蓄品と併せて、今回ご寄附いただきました非常用携帯トイレを全世帯に配布する予定です。温かいご厚意、心より感謝申し上げます。

【寄附物品の内訳】

- ・トイレINBOX入り携帯トイレ25個入(鉄道シリーズ)を312箱(7,800個)
 - ・非常用トイレ個包装タイプ40個入を128箱(5,120個)
- 合計 12,920個



▲感謝状贈呈式の様子

揖斐川町消防団が岐阜県防災 ヘリ合同訓練に参加しました

8月2日(日)、大野町根尾川沿いで、岐阜県防災航空隊との合同訓練を実施しました。

訓練には、揖斐川町消防団員をはじめ揖斐郡内の消防団員約80人が参加し、山林火災の危険性の認識を深めるとともに、防災ヘリコプターとの連携方法について実践的に学習しました。今後も、地域住民の安全安心のため、消防団活動に対し、ご理解ご協力をお願いします。



▲ヘリコプターからの散水訓練



▲ヘリコプターへの補水訓練

子ども会リーダー研修会 を開催しました

7月21日(火)、月夜谷ふれあいの里で揖斐川町子ども会育成指導者連絡協議会主催の「子ども会リーダー研修会」を開催しました。

この研修は、町内小・中学校から応募のあった児童生徒が野外活動を通じて、参加者相互の親睦とリーダーとしての自覚を深めるために開催したものです。

参加した23名の皆さんは、出発前に役員から活動の説明を聞き、レクリエーションをして参加者同士の交流を行いました。

現地では小川の中に入って「マスつかみ」を行い水や魚の感触を楽しみました。また昼食にはひとり1個のピザを仕込み、焼き立てピザと炭焼きされたマスをおいしそうにほおばりました。

参加した児童生徒からは「仲間と協力し、呼びかけ合って時間を守ることが大事だと思った」「ここで学んだことを活かして知らない人とでもコミュニケーションができるようになりたい」「いつも動物の命を食べていたことを知り、命の大切さを知った」と感想がありました。学校・地域のリーダーとして、今後活躍されることを期待しています。



▲ピザを手づくり



▲マスを焼く行程も見学



▲マスつかみ

第12回水から学ぶイビデン ツアーを開催しました

7月24日(金)にイビデン株式会社主催、揖斐川町教育委員会共催のもと、「第12回水から学ぶイビデンツアー」が開催されました。

このイベントはイビデン株式会社が所有する東横山水力発電所を小学生に見学してもらい、水力発電所と生活のつながりを学んでもらう機会として企画されました。

参加された町内小学生4、6年生28名は、地域交流センターはなもでも約30分座学を受けた後、バスで現地に移動しました。現地では、イビデン社員による説明を聞きながら発電所施設内や設備の見学を行いました。また、午後からは変形可能な動力マシンの工作をして楽しみました。

参加した児童からは「電気を作る大きな機械を間近で見て、これが川の水だけで動いているのがすごい」「発電所より高いところにある水そうがこんなに大きいとは思わなかった」といった感想がありました。

児童は身の回りに使われる電気が水によって、発電する方法や送電の仕組みを学んで満足していました。



あたたかい善意

8月12日(水)、胫永踊り実行委員会様より、令和8年熊本地震災害義援金として総額2万円をお預りしました。

この義援金は、胫永地区の揖斐川中学校の生徒19名が準備や打ち合わせをし、8月11日(火・祝)に行われた胫永踊りに呼びかけ、集めたものです。お預かりした義援金は、日本赤十字社を通じて、被災地に送られます。ありがとうございました。



▲胫永踊り実行委員会から胫永地区の揖斐川中学校生徒(左から、高橋陽仁さん、足立海音さん、田中晴基さん、平野優さん)



▲生徒が手作りした募金箱

8月17日(月)、小島夏祭り中学生リーダー様より、令和8年熊本地震災害義援金として総額40,048円をお預りしました。

この義援金は、8月8日(土)に行われた小島夏祭りでも小島地区の揖斐川中学校の生徒が呼びかけ、集めたものです。お預かりした義援金は、日本赤十字社を通じて、被災地に送られます。ありがとうございました。



▲小島夏祭り中学生リーダーから小島地区の揖斐川中学校生徒(左から、牧村舞以子さん、石橋映彩さん、伊藤花さん)

8月10日(月)、三輪区財産管理委員会から揖斐小学校へ、大型扇風機10台が寄贈されました。寄贈いただいた大型扇風機は、体育館活動時における子どもたちの熱中症予防のために使用します。

ありがとうございました。